

第3回検討委員会で出た主な質問・意見と対応

No.	主な質問・意見	対応方針
1	「きめ細かく」と表現すると、一律に少人数指導が望ましいと読み取れるが、本来は子供一人ひとりの資質・能力を伸ばすことができる規模が望ましい	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の「学びの環境整備」の当該記述を修正します。
2	少人数指導＝良いという認識を改め、また、市民に伝えていく必要がある	
3	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の各項目について、主語が何か、分かりにくい表現のものがあるので、修正いただきたい	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の各項目について、主語を明記するよう修正します。
4	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の「民間の事業者も教育に参加できること」について、子供の資質・能力を伸ばすために多様な指導形態を目指す際には必然となるので、目標の一項目として掲載する必要はないのではないか	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の項目から削除します。
5	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の「拠点性の向上」の内容が、学校へのアクセスだけだが、それでよいのか 地域の拠点になるのだから、学校がスポーツや歴史、地域愛といった地域の精神的な支柱となる存在となる旨の文言を追加すべきではないか	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の「拠点性の向上」の内容について、アクセスだけでなく、地域づくりや施設内での使いやすさなどの観点を盛り込むよう修正します。
6	「拠点性の向上」の「拠点まで安心してアクセスできる安全性があること」は、施設までの交通のみにフォーカスされてい	

	る印象を受けるが、施設内のバリアフリーへの配慮を盛り込まれてはいかがか	
7	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の「施設の持続可能性の担保」について、教育条件の改善が前提にある旨を記載しておくべき	「清瀬市の学校の規模・配置の目標」の「施設の持続可能性の担保」の内容について、教育条件の改善が第一である旨を明記します。
8	適正規模・適正配置の「学区内の人口」の視点について、学区内の児童・生徒なら理解できるが、高齢者も含む、全年齢の人口を視点とすることに違和感を覚える	適正配置・適正配置の視点から、当該視点を削除します。
9	特別支援学級や小中一貫校について、視点や目安を設けることは難しいが、付帯意見として何かしら触れておく必要はあるのではないか	小中一貫校の導入可否等については、基本方針策定後、適正規模・適正配置の実行と併せて検討します。